

AIDS UPDATE

No.34 2002.10.9

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線5581 (輸血部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

地对協エイズ講演会

◆ 広島県地域保健対策協議会(地对協)に設置されているHIV感染症専門委員会(委員長:吉田哲也広大教授)では、エイズ医療体制の構築ならびに啓発を目的として各種講演会・研修会・アンケート調査などを実施してきました。本年度も引き続きHIV感染者の医療で最も重要である医師の初期対応について、日常診療の場で避けて通れない検査の説明やエイズ治療の最新の情報などを盛り込んだ講演会を企画しました。

【地对協エイズ講演会】

日時:平成14年10月31日(木)19:00~

会場:広島市役所2階 講堂

内容:

1. 特別講演

「保健所におけるエイズ医療初期検査について」

神奈川県衛生研究所ウイルス部長 今井光信

2. パネルディスカッション

司会:広大病院エイズ医療対策室 高田 昇

パネリスト:有田健一(広島赤十字・原爆病院)、堀内賢二(広島鉄道病院)、小田健司(広島市民病院)、吉岡嘉暁(広島市社会局保険部)、内野悌司(広島大学保健管理センター)

主催:広島県地对協HIV感染症専門委員会

事務局 082-232-7211



報告書 「献血者・妊婦に関する研究」

◆ 厚労省のHIVの疫学研究班の研究グループの中で、杏林大学の清水教授は毎年、献血者と妊婦におけるHIV感染者の動向を調査しています。平成13年度分がまとまり、調査協力者に報告書のコピーを返して下さいました。全文を皆様にお配りします。

◆ 日本の献血者におけるHIV陽性者は毎年増え続け、平成13年度は、10万人あたり1.37人になりました。東京では4.90、中四国では0.64人です。妊婦の場合は調査の母数に偏りがありますので、真の値とは違うと思います。しかし重複を除いて平成13年度の妊婦46万人(出生の40%)では、15人の陽性者でした。調査期間の関係で中四国は0となっています。

広大病院の感染者数の現状

◆ 広島大学医学部附属病院のエイズ患者・HIV感染者数は累計81人、平成14年度(4月以降)の新患は3人、現在外来に通院されている感染者は実数35人となっています。

< ご意見募集 >

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。
[TAKATA, OE]
takata@aid-chushi.or.jp